

第6号 公共施設再配置 長穂かわら版

【発行】施設マネジメント課 TEL:0834-22-8202

長穂地域モデル事業の第6回ワークショップを7月31日（日）に開催しました。

新たな施設の整備候補地が長穂小学校であることから、小学校の体育館で開催しました。

今回のグループワークのテーマは「拠点施設の全体像を考えよう」です。グループワークを行うにあたり、徳山工業高等専門学校環境建設工学専攻の学生が、これまでのワークショップで出た意見をもとに、案を3つ考えましたので、この3案も話し合いの参考としながら、長穂小学校の敷地における施設の位置関係や建物の形などについて話し合いを行いました。

【当日のプログラム】

- 今後の流れ
- 第5回ワークショップのおさらい
- 市内施設視察報告
- 高専生から参考（案）の紹介
- グループワーク「拠点施設の全体像を考えよう」
- グループ発表
- 投票（ベースとする（案）の選定）&結果報告
- ふりかえり、わかちあい
- 今日のまとめ

【次回案内】

次回、第7回ワークショップは、以下の日程で開催予定です。

- 日時：平成28年8月28日（日）10時30分～ ※いつもより1時間遅らせての開催です。
- 会場：長穂公民館 大講座室
- 内容：「拠点施設の使い方・運営方法について考えよう」

【当日の様子】



【市内施設視察報告】

6月20日（月）に市内の公共施設4施設について、視察に行きました。視察には、長穂地域の住民15名と市職員5名が参加しました。4施設の視察順と概要・特徴は次のとおりとなります。

①大道理夢求の里交流館

○施設概要

＜構造＞鉄筋コンクリート造

＜建設＞S60年に建設され、H26年に改修

＜管理方法＞地域による指定管理

○指定管理による運営により地域の意見を反映させやすい。

○「公民館」ではなく「交流館」のため、社会教育法に縛られることなく運営、事業展開ができる。

指定管理とは・・・
市からの指定管理料を財源に指定管理者が職員を雇用し、施設管理等を行う。

②学び・交流プラザ

○施設概要

＜構造＞鉄筋コンクリート造 ＜建設＞H27年にオープン ＜管理方法＞市の直営

○新南陽地区全域を対象とする大規模施設だが、最新設備やオープンスペースの取り入れ方などが参考となる。

○通路や図書館など、光を取り入れるためにガラス張りのところが多い。

○チラシの設置スペースが多く、情報発信がしやすい。

○子供用の一回り小さいトイレが設置されている。

○玄関の吹き抜けはとても開放感がある。

③榎浜支所・公民館

○施設概要

＜構造＞鉄筋コンクリート造 ＜建設＞H27年にオープン ＜管理方法＞市の直営

○学び・交流プラザと同じく最新の設備が導入されている。

○正職員は配置されておらず、市の嘱託職員が運営。後に地域運営を見込んでいる。

○玄関に段差がなく、講堂・和室以外は基本的に土足。エレベーターも設置されている。

○館内のスピーカーを利用して、BGMを流している。

④中須支所・公民館

○施設概要

＜構造＞鉄筋コンクリート造 ＜建設＞H8年にオープン ＜管理方法＞市の直営

○長穂と同等の人口規模であり、中山間地域に属している。市内の支所・公民館併設館の中では3番目に新しい施設。

○運営方法を見越した設計の必要性。

⇒支所と公民館を分けて運営していく、ということが今の一つの方向性である。

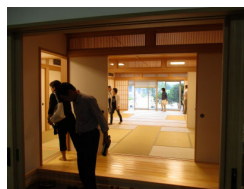
○どのような利用者か、または利用方法かによってレイアウトを。

⇒自分たちがどんなふうに使いたいのか、を明確にすることで見えてくる。

（例：バリアフリー、土足利用など）

＜参加者の感想等＞

- ・機能性や規模等を含め参考になった。最新の機器を見れて良かった。
- ・各々の公民館の特徴が理解できて良かった。
- ・運営管理の指定管理、委託等細かい点まで説明していただき良い勉強になりました。 など

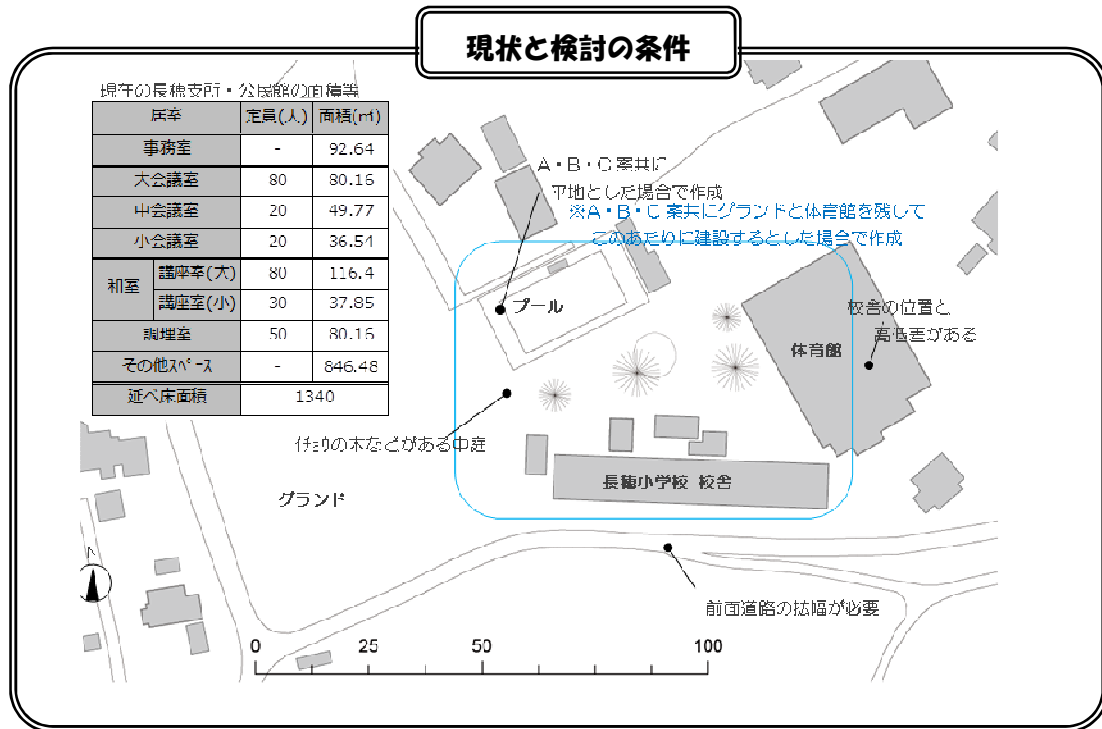


【グループワーク】

今回のグループワークは「拠点施設の全体像を考えよう」をテーマに、長穂小学校の敷地に対して、「施設や駐車場の位置関係はどうだったらいいだろうか」、「どんな形の建物が出来れば使い勝手がいーいだろうか」について考えます。

まず、徳山工業高等専門学校環境建設工学専攻の学生が、グループワークを行う際に参考にしてもらうために考えた案を発表しました。

【徳山工業高等専門学校環境建設工学専攻の学生が考えた（案）の紹介】



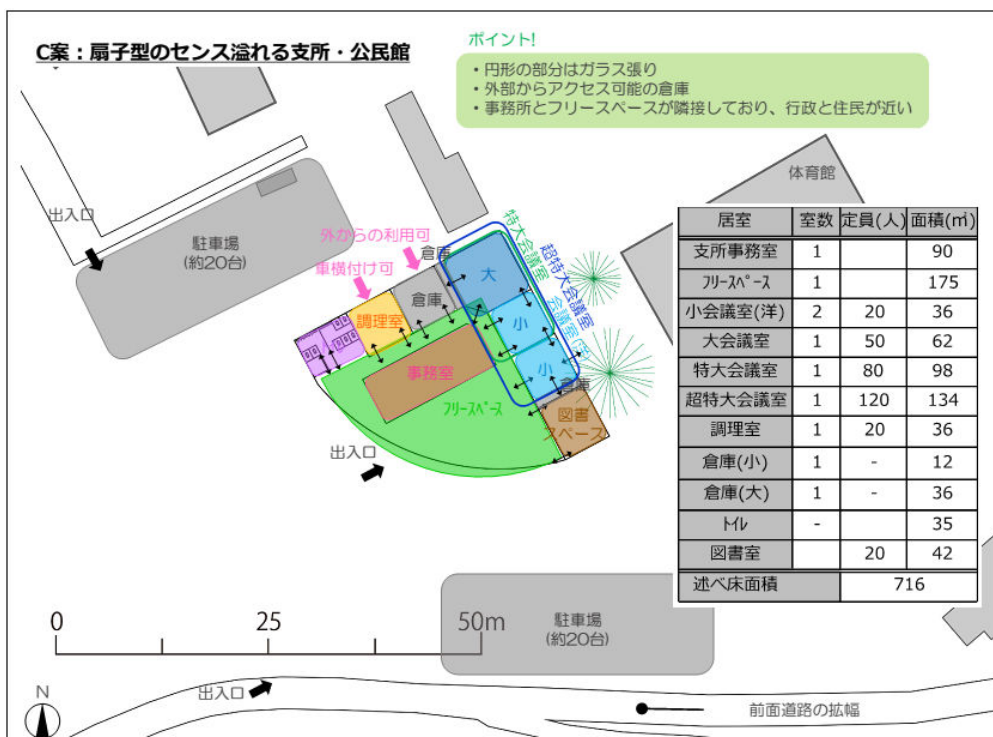
A 案：階段屋根の中庭のある支所・公民館



B案：大屋根とコンテナの支所・公民館

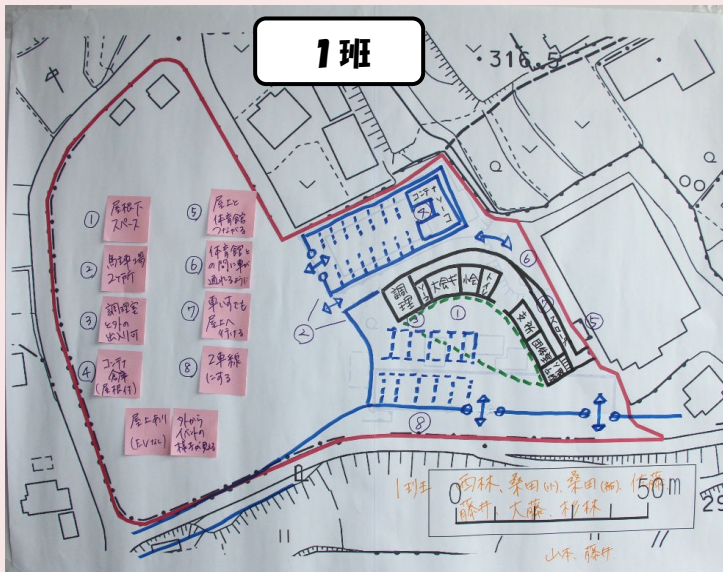


C案：扇子型のセンス溢れる支所・公民館



この3案を、検討する際の参考資料として、各グループで検討を行いました。
 そして、各班が検討結果について投票を行い、1つのベースとなる案を選定し、その案について改めて徳山工業高等専門学校環境建設工学専攻の学生に図面化してもらいます。

【グループワークでの検討結果】



《Point》

- ◆屋根下のスペース（大屋根）
- ◆駐車場は北側と南側の2箇所
- ◆調理室は外との出入りが可能
- ◆コンテナ倉庫（別棟）
- ◆屋上と体育館がつながる
- ◆建物と体育館の間を車が通れるように
- ◆車いすでも屋上に行けるように
スロープを設置
- ◆南側の道路を2車線に拡幅
- ◆屋上あり
(EVは不要、建物の半分程度で良い)



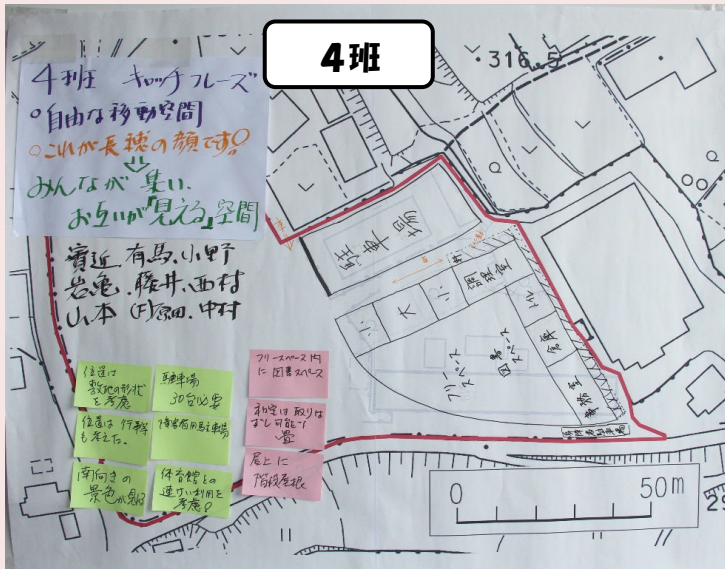
《Point》

- ◆大屋根
- ◆大中小会議室は可変式の間仕切りで
区分ける
- ◆車を建物に横付けできる（利便性向上）
- ◆平屋でバリアフリー



《Point》

- ◆大屋根
(大きすぎると日当たりが悪くなる)
- ◆日当たりとコミュニケーション性を重視
- ◆イベント&見晴らし&使い勝手重視
- ◆活動しやすいかけ出し
(車の横づけ等が可能)



<Point>

- ◆南向きの景色が見える
- ◆障がい者用駐車場を確保
- ◆体育館との連携した利用を考慮
- ◆フリースペース内の図書コーナー
- ◆和室は取り外し可能な畳で
- ◆屋上に階段屋根



<Point>

- ◆道路と敷地の関係性を考慮
- ◆管理のしやすさ重視（イチョウは切る）
- ◆コミュニティ活動のしやすさを重視
- ◆雨が降っても何かが出来る
- ◆体育館との連絡通路

【投票&結果発表】

最後に各班が検討し発表した5つの案について、投票を行いました。
投票の結果は次のとおりです。

班	1班	2班	3班	4班	5班
得点	26点	8点	20点	11点	7点

投票の結果、1班が最多得点、次に3班という結果になりました。そのため、拠点施設の全体像については、1班の案をベースにして、各班が考えた案のポイントや、前回までのワークショップで出された意見なども参考に、徳山工業高等専門学校環境建設工学専攻の学生が、授業の一環として図面を作成します。

これによって、これまでワークショップを重ね協議してきた長穂地域拠点施設について、地域としての思いを示した素案が出来上がります。